

令和7年度事業報告

(事業経緯)

- ・有明広域産業技術振興会では、会員企業と有明工業高等専門学校（以下有明高専）との技術相談や共同研究開発などの橋渡しを行ってきた。
- ・会員企業と有明高専をはじめとした産学官の連携・協力の推進を図り、地域産業の振興に寄与するため、産学連携交流事業等を実施している。

1. 会議等の開催

(1) 役員会の開催

令和7年度の当振興会の事業計画、収支予算及び事業の円滑な実施について協議を行うため、役員会を開催した。

（構成：14 会員企業・団体）

- ・開催日：令和7年6月3日（火）14：00～
- ・場 所：ホテルヴェルデ 「翠扇の間」

(2) 総会の開催

令和7年度の当振興会の事業計画、収支予算について議案を提出し、承諾を得た。

また、総会終了後は会員間交流を深めるため懇親会を開催した。

- ・開催日：令和7年6月3日（火）15：00～
- ・場 所：ホテルヴェルデ 「有明の間（紫苑）」

(3) 有明高専と関係機関による連絡調整会議

当振興会事業の円滑な事業推進、地域産業の振興に向けた施策を検討するため、有明高専と関係機関による連絡調整会議を定期的の実施した。

2. 産学連携交流事業

当振興会事業活動の強化を図るため、有明高専主管による事業計画の策定及び有明高専と会員企業の交流等を促進するため、事業を実施した。

※詳細は P4～P7「産学連携交流事業 実施報告」

3. 情報・広報事業

(1) 有明広域産業技術振興会会員企業の銘板更新等

新規入会等企業の銘板更新方法について検討を行った。

- ・銘板仕様：縦 12 cm×横 35 cm・アルミ樹脂複合板
- ・設置場所：有明高専総合研究棟 1 F テクノセンター事務室前

(2) 有明広域産業技術振興会会員企業紹介事業（「ありあけ地域企業紹介フェア」）

有明工業高等専門学校の学生及び教職員に当振興会の会員企業を知ってもらうことを目的として会員企業紹介を行った。

- ・開催日：令和8年1月7日（水）13：00～16：00
- ・場 所：有明高専（さんさくアリーナ（第1体育館）、第2体育館）
- ・参加企業：66 社
- ・参加学生：194 名

- (3) ホームページによる情報発信・会員企業相互の交流の場の提供
ホームページによる情報の提供、会員相互の情報交換の場を提供した。
- (4) メーリングリストを活用しての情報提供
メーリングリストを活用し、研究開発助成事業の募集案内、各種セミナーの開催案内等の情報提供を行った。

4. 関連事業

- (1) 各種セミナー開催協力（主催：大牟田市産業活性化推進協議会、中小企業大学校）

① I S O 9 0 0 1 内部監査員養成講座

- ・開催日：令和7年10月 6日(月) ～ 7日(火)
10月30日(木) ～ 31日(金)
- ・場 所：大牟田商工会館
- ・受講者：30名

② I S O 1 4 0 0 1 内部監査員養成講座

- ・開催日：令和7年10月22日(水) ～ 23日(木)
11月10日(月) ～ 11日(火)
- ・場 所：大牟田商工会館
- ・受講者：29名

③職場リーダー養成研修

- ・開催日：令和7年12月4日(木) ～ 5日(金)
- ・場 所：大牟田商工会館
- ・参加者：17名

④品質管理セミナー 「生産性向上支援訓練事業」として実施

- ・開催日：①基本編 令和8年 2月19日(木) ～ 20日(金)
②実践編 令和8年 3月17日(火)
- ・場 所：大牟田商工会館
- ・参加者：①基本編 6名、②実践編 11名

⑤生成 AI 活用セミナー

- ・開催日：令和8年3月6日(金)
- ・場 所：大牟田商工会館
- ・参加者：25名

⑥ワンヘルスセミナー

- ・開催日：令和8年3月26日(木)
- ・場 所：大牟田商工会館
- ・参加者：47名

(2) 関係機関・団体が行う事業の開催協力

地域経済分析システム RESAS データ活用実践講座

- ・開催日：令和7年8月27日（水）
- ・内 容：地域経済分析システム「RESAS」の操作方法を学びながら、地域密着型消費者ビジネスに関する外部環境分析と新たなビジネスチャンスの探索に挑戦する講座を実施
- ・主 催：大牟田市イノベーション推進協議会
- ・参加者：39名

令和7年度 産学連携交流事業 実施報告

本振興会は地元および周辺地域企業と有明高専との間を取り持ち、地域企業の活性化を図るために、講演会、工場見学、シーズ発表会等を企画・実施してきた。また、平成26年度より大牟田市銀座通商店街の一角で運営してきたサテライトオフィスを、令和4年10月、新設された大牟田市イノベーション創出拠点（アウレア）内に移転し、有明高専の一層の開放と情報収集および発信能力の向上を図っている。

1. 産学連携による共同研究の促進

(1) 地場産業振興支援研究経費の補助

地場産業振興を最終目標として、地場企業と高専教職員との連携による研究・開発の促進を目的とする地場産業振興支援研究を継続支援する事業を行った。

以下の4件を採択助成した。研究成果については総会資料として配布する。

◎研究課題：製品素材に対する強度調査と装置開発

研究担当者：篠崎 烈

共同研究者：石橋 大作（有明高専） 谷延 優裕（株式会社オーツボ）

◎研究課題：大牟田市下水処理施設の硝化抑制/促進運転における細菌叢と水質の関連性調査

研究担当者：藤本 大輔

共同研究者：内田 雅也（有明高専）

森 景志郎、永江 丈徳、林 梓（ヴェオリア・ジェネッツ株式会社）

◎研究課題：光電子制御プラズマにより成膜したダイヤモンドライクカーボンの応力制御

研究担当者：鷹林 将

共同研究者：渡辺 貴之、森田 勇介（田辺工業株式会社） 山下 勇生（株式会社旭製作所）

◎研究課題：プロテイン G を積層固定した膜による抗体高効率精製

研究担当者：大河平 紀司

共同研究者：富永 伸明（有明高専） 深浦 仁美（株式会社坂本石灰工業所）

(2) 技術マッチングの強化

研究・産学連携活動支援を行う産学官連携コーディネータを配置し、地域企業からの技術相談や共同研究へのマッチングを行った。

2. 事業の開催

(1) 地域共同テクノセンターによる産学連携促進

- ・地域共同テクノセンター内に企業からの研究課題に対応するための研究ラボを令和2年度から設置し、現在6件のマッチングラボによる共同研究が継続している。うち、3件が会員企業。
- ・高専と会員企業間、ならびに会員企業間同士の連携強化により新規会員が昨年度から10社増加した。

(2) オンラインサロンの開催

コロナ禍でも、振興会企業様同士の交流や、有明高専コーディネータと教員の交流、共同研究や技術相談の定期的な窓口となる場所となるべく、令和2年から開始したオンラインサロンを令和6年6月から開催頻度を月に1回に変えて実施した。(R7年度12回開催：総開催数198回) 令和6年度から教職員の研究紹介と振興会企業の事業紹介に加え、新たに卒業生と在校生や教職員・年代の異なる卒業生同士を繋ぐ機会として、「卒業生サロン（卒業生と教員との座談会）」も開催している。

(3) 会員への支援情報申請等の情報提供

産学官連携および中小企業支援情報を収集し、コーディネートすることにより、共同研究の推進を図った。

(4) 人材育成の強化

- ・有明地域の歴史・産業に対する理解の深化を図るため、低学年学生に対する「地元学」を継続開講した。
- ・地場企業や振興会会員企業に対し有用な人材となるよう、その教育の一環として学生の各種コンテストへの参加等を推進した。
- ・令和7年8月21日(木)に「有明高専ものづくり体験教室」を開催し、未就学児から大人まで約1,000人に液体窒素を使った楽しい実験などを体験していただいた。
- ・有明高専産学連携マッチングラボを構築し、学生教育と絡めた産学連携を推進した。
- ・有明広域産業技術振興会会員企業紹介事業を実施した。

日 時：令和8年1月7日（水）13：00～16：00

会 場：有明高専 さんさくアリーナ（第1体育館）・第2体育館 参加企業66社

- ・各種講演会を3回開催した。

(第1回)

日時：令和7年11月14日（金）16：30～18：00

場所：有明高専図書館棟3階 さんさくMMルーム（視聴覚室）

題名：逆転、発想人生～いじめられっ子の必笑ストーリー～

講師：西村 赤音 氏 タレント あらお観光大使

(第2回)

日時：令和7年12月12日（金）16：30～18：00

場所：有明高専図書館棟3階 さんさくMMルーム（視聴覚室）

題名：高専生が音楽プロデューサーになったわけ

講師：松隈 ケンタ 氏 株式会社スクランブルズ 代表取締役

(第3回)

日時： 令和8年2月12日（木）16：30～18：00

場所：有明高専図書館棟3階 さんさくMMルーム（視聴覚室）

題名：『いじめられっ子の愛されストーリー♡』～嫌われ人生続きますが、幸せです～

講師：西村 赤音 氏 タレント あらお観光大使

- 令和7年度サーキットデザイン教育センター（CDEC）設置し、開所式を執り行った。サーキットデザイン教育の更なる発展を目指し、持続可能かつ安定的な資金基盤を構築するため、令和6年11月に設置したサーキットデザイン教育基金を活用し、EDA ソフトウェアの導入、半導体教育プラットフォームサービスの提供、教材開発、インストラクター育成、IC チップ試作環境及び機会の提供など、幅広い教育活動を展開し、半導体関連産業の成長を支える人材育成を推進した。

3. 令和7年度有明広域産業技術振興会産学連携交流事業 予算執行状況

【支出の部】

（単位：円）

区分	決算額	予算額	比較増減
1. 地場産業振興支援研究費	800,000	800,000	0
2. 事業費（人材育成等）	224,880	350,000	
3. 予備費	0	50,000	0
合 計	1,024,880	1,200,000	△175,120

4. 共同研究・受託研究受入一覧（過去5年）

年度	共同 (件)	受託 (件)	合計 (件)	共同 (千円)	受託 (千円)	合計 (千円)
R3	13	3	16	39,155	3,427	42,582
R4	14	4	18	20,683	5,217	25,900
R5	17(6)	1	17	31,972	1,763	33,735
R6	12(5)	1	12	16,036	1,673	17,709
R7	16(8)	1	17	44,822	1,729	46,551

※（）内は、うち会員企業の件数

※受託事業含む

参考. 有明広域産業技術振興会会員企業への就職状況（過去5年）

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
エネルギーコース	4	2	8	5	5
応用化学/環境生命コース	5	3	5	1	0
メカニクスコース	2	2	4	6	4
情報システムコース	1	5	4	3	7
建築コース	2	4	3	3	3
専攻科	4	3	2	1	1
合計	18	19	26	19	20
全就職者数	150	157	177	140	159